

## 献呈の辞

四宮和夫先生は昭和六〇年三月三十一日、定年を迎えられ、成城大学を退職された。

先生は昭和五四年四月、成城大学法学部教授にご就任、民法の講義、また、大学院で信託特殊講義を担当された。

ご在任の七年間、先生のご著作からは無論、さらに、先生の、すべてが学問中心の、真摯な日常のご生活に至るまで、われわれは先生から教えを多く受けた。この意味においても先生のご学恩の大きさは計り知れないものがある。ここに、成城法学第二二号を記念号として、先生の古稀を祝賀する次第である。

先生は、ご退職後もご健康で、時おり、法学部の資料室にお見えになる。願わくば、先生には、何時までもご健勝で、われわれ後進に学問上の指針をたまわらんことをお祈りする。

昭和六一年五月

法学部長 中川 和彦

體た、其の政治の進歩は其の經濟の進歩に比例するものがある。

其の政治の進歩は其の經濟の進歩に比例するものがある。其の政治の進歩は其の經濟の進歩に比例するものがある。其の政治の進歩は其の經濟の進歩に比例するものがある。

其の政治の進歩は其の經濟の進歩に比例するものがある。其の政治の進歩は其の經濟の進歩に比例するものがある。其の政治の進歩は其の經濟の進歩に比例するものがある。

三

支那の政治の進歩は其の經濟の進歩に比例するものがある。其の政治の進歩は其の經濟の進歩に比例するものがある。其の政治の進歩は其の經濟の進歩に比例するものがある。

支那の政治の進歩は其の經濟の進歩に比例するものがある。其の政治の進歩は其の經濟の進歩に比例するものがある。其の政治の進歩は其の經濟の進歩に比例するものがある。

支那の政治と経済